

## あなたの服薬指導、大丈夫ですか？

あなたは、「服薬指導の組み立て方」を学んだことがありますか？

薬剤師には、薬学的な知識はもちろん必要ですが、良い服薬指導は、薬学的な知識があるだけではできません。**服薬指導を組み立てる方法論**があるのです。この方法論こそが「**服薬ケアステップ**」(患者応対を効果的に進めていくための方法論)です!!

今回はこの「**服薬ケアステップ**」を、講義と実践ワークでみっちり学びます。1 番のポイントは、**自分が今どのステップにいるのかを確認**すること。「思いつき指導」や「行き当たりばったりの指導」から卒業しましょう! ワンランク上の服薬指導スキルを身に付ける、またとないチャンスです!

あなたの服薬指導を、1 から見直してみませんか？

ご自宅から web  
参加できます

※web 参加の場合は認定シールの配付はございません。ただし自己研修(4 時間 1 単位)の申請が可能です。  
※web 参加の場合は、web 配信料 500 円(会員・学生は無料)が別途必要です

【日時】令和 2 年 4 月 12 日(日) 10:00~16:30  
【会場】ウインクあいち 会議室 1003 電話: 052-571-6131  
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38  
JR 名古屋駅桜通り口 徒歩約 5 分



【講師】服薬ケア研究会会頭 岡村 祐聡 先生  
【参加費】服薬ケア研究会会員 3,500 円、非会員 5,000 円、学生 2,000 円  
【定員】70 名(参加費入金をもって正式受付となります。)

【問合先】服薬ケア研究会事務局 E-MAIL: jimukyoku@fukuyaku.net FAX: 03-6368-6058

【申込】以下にご記入の上、E-MAIL か FAX でお送りいただくか、上記 QR コードからお申し込みください。折り返し入金方法等をご案内いたしますので、必ず返信先(メールアドレスまたは FAX)をお書き下さい。メールは jimukyoku@fukuyaku.net からお送りしますので受信ができるよう設定をお願いします。お申込み後 3 日経っても返信が無い場合、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。※ezweb,hotmail からのメールは届かないことが多いため、これら以外のアドレスをご使用ください。

<<<<< あなたの服薬指導、大丈夫ですか? 4/12 名古屋) 参加申込記載事項 >>>>>

本会場 ・ web 参加します 該当する方に○をしてください。

氏名: \_\_\_\_\_

メールアドレス: \_\_\_\_\_

(自宅・勤務先) 該当する方に○をしてください。

住所: 〒 \_\_\_\_\_

(自宅・勤務先) 該当する方に○をしてください。

(自宅・勤務先) 該当する方に○をしてください。

電話: \_\_\_\_\_

FAX: \_\_\_\_\_

勤務先: \_\_\_\_\_

職種: 薬局薬剤師 ・ 病院薬剤師 ・ その他 ( \_\_\_\_\_ )

服薬ケア研究会の会員ですか? : はい( \_\_\_\_\_ 番) ・ いいえ

同時入会を希望しますか? : はい ・ いいえ

薬剤師名簿登録番号: \_\_\_\_\_

参加希望席: ワーク席 ・ オブザーバー席

## ワーク席、オブザーバー席とは？

- 今回のワークは、服薬ケア研究会オリジナルのワークである「頭の中を POS に！」するワークに則って行います。
- ワークでは、模擬症例を用いて患者役の方と実際に応対をしながら、「どのように応対するのが良いのか」を学んでいきます。
- 実際には3～5分程度で終わってしまう患者さんとのやり取りを、3時間以上かけてじっくりとディスカッションしながら、組み立てていきます。
- このとき、**ワーク席**の参加者は応対する薬剤師役となり、チューターとやり取りしながら問題を探し、最適なケアを考察して行きます。ワーク席の参加者は、自ら意見を述べたり、チューターより発言を求められたりします。したがって、自分自身で実際に症例に取り組み、最適なケアを組み立てる思考訓練を行いたい場合には、ワーク席をご希望下さい。
- **オブザーバー席**の参加者は、基本的にはワーク席の参加者がケアを組み立てていく様子を周りで見学する形になります。チューターから指名され、発言を求められることはありません。
- 講師はチューターをやりながら適宜必要な解説をはさんでいきますので、患者さんとのやり取りや、講師の解説を聞きながら、落ち着いて「どのように考えれば良いのか」を学ぶことができます。そのため、指されることにより緊張することなく、しっかりとその考え方を学ぶことができます。さらにオブザーバー席の方は、チューターより指されることはありませんが、自分で意見を述べたいときには挙手して意見を述べるすることができます。したがって、ワークの流れに自分の意志で参加することは可能ですので、ただ単に「見ているだけ」ではありません。そういう意味でオブザーバー席での参加の方が、むしろ勉強になる方もいるでしょう。
- **ワーク席**の参加者は、ディスカッションに直接参加しながら、交代で実際の患者応対も行います。したがって、「服薬ケアステップ」の方法論をある程度理解していて、「実際に試してみたい」「自分が実際に応対して、患者さんから情報を引き出してみたい」という方には最適です。患者応対の組み立てだけでなく、実際のコミュニケーション技法を用いて、患者さんとのやり取りをその場で行いますので、「服薬ケアステップ」を実際に試してみることに、「服薬ケアコミュニケーション」の実践練習を同時に行うことができます。
- **このように、それぞれのご希望に合わせて、ワーク席、オブザーバー席、どちらの参加でも、とても勉強になるワークです。**
- なお、患者役も参加者の中から、希望者にやっていただきます。実は患者役が一番勉強になると言われており、希望者も大変多いため、会員の中から事前に希望者を募っております。
- 1回以上この「頭の中を POS にするワーク」に参加したことがある会員の方は、患者役での参加も可能ですので、事前に事務局まで予約申込をしてください。
- なお、必ず自分が使い慣れた薬や病気に関する参考書などを持参してください。このワークは考え方を学ぶワークですので、知識があやふやでは思考を組み立てることができません。特にワーク席参加の方は、忘れずにお持ち下さい。もちろん、オブザーバー席での参加の方もお手元で調べながら学んだ方が良いでしょう。

(主催者側では特に添付文書などは用意しませんので、必ずご自身でご持参下さい。)